

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

関市地域公共交通活性化協議会 (関市)

平成21年 3月21日設置

令和 4年 3月23日 関市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和4年4月～令和9年3月)

令和 4年 6月22日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和 5年 1月 日 令和4年度評価結果送付

地域の特性

- ・ 岐阜県の中心部に位置
V字型 472.33km²
- ・ 長良川鉄道が市の中心部を南北に運行
- ・ 市内移動の大部分をバスで担う

公共交通計画名及び期間

「関市地域公共交通計画」
(令和4年度～令和8年度)

計画で目指す公共交通の将来像

ずっと暮らし続けられる関市を支える
地域公共交通ネットワークの構築

目標1

高校生が公共交通で通学できるサービスの提供

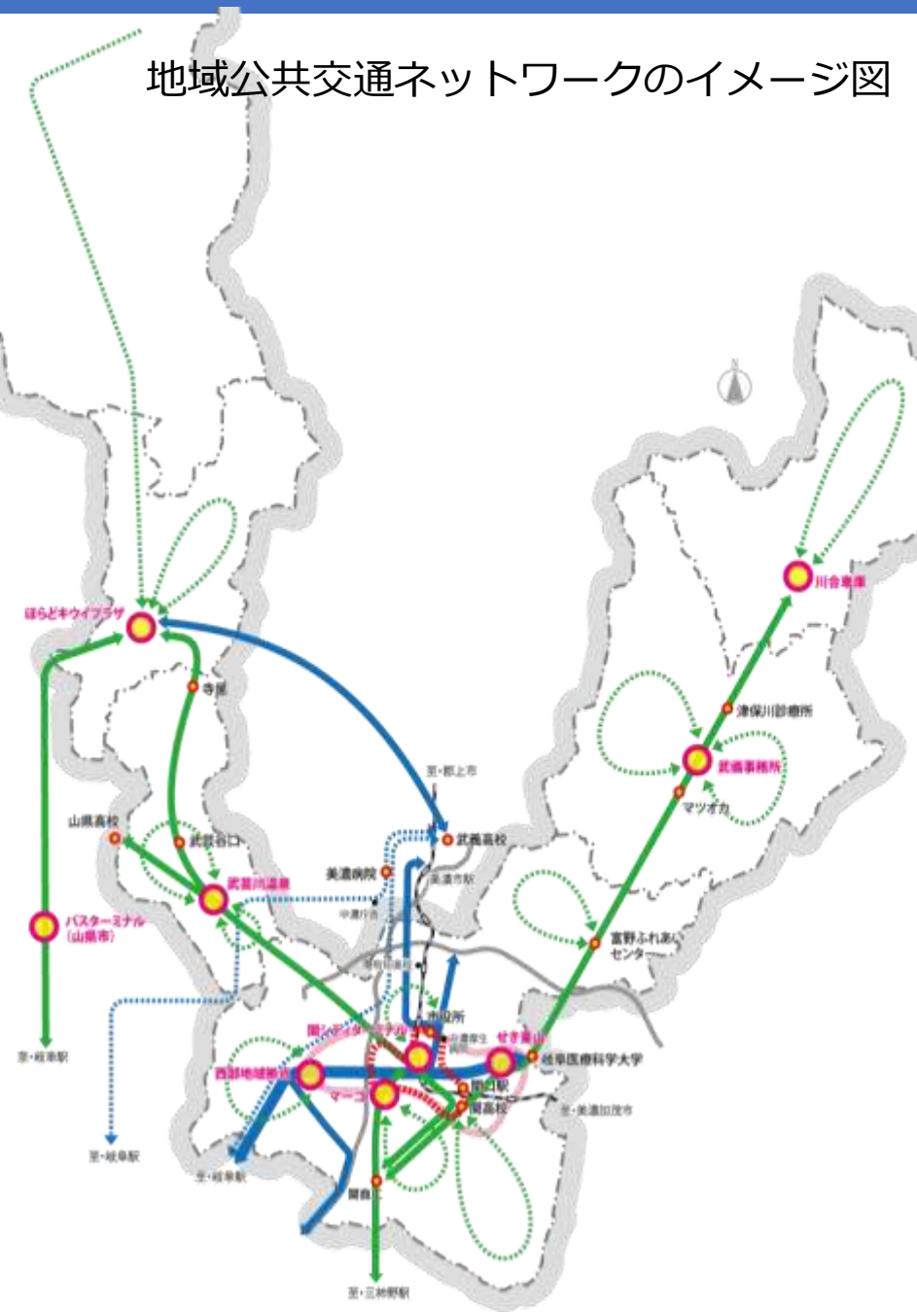
目標2


より多くの人を使いやすい公共交通サービスの提供



目標3

持続可能な公共交通サービスの確保

地域公共交通ネットワークのイメージ図



取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
施策郡 1 4 バス停・駅環境の改善	駐輪場屋根塗装 修繕 (令和3～5年度)	令和3年度 関口駅で実施。 令和4年度 関駅、関市役所前駅 駐輪場で実施。 令和5年度 関下有知駅、せきてらす前駅、 関富岡駅 駐輪場を実施予定。	直接的な利用者増には繋がらないが、施設の長寿命化を図った。 
施策郡 2 3 学生通学支援補助 制度の実施	高速名古屋線の通 学定期乗車券購入 に対して1カ月あ たり5,000円 を補助	令和2年度 申請者41人 補助金額 740,000円 令和3年度 申請者73人 補助金額 845,000円 令和4年度 申請者64人 補助金額 1,550,000円 ※R4は11月末現在	コロナ禍で利用者の減少が続いたが、市内の中学校、高校へ案内チラシの直接配布の効果もあり、増加傾向にある。今後も引き続き、周知活動を継続する。
★施策郡 2 4 高齢者運転免許証 自主返納者への支援	運転免許証を自主 返納された市内在 住の高齢者など に対し、関シティバ スの料金が3年間 無料になる乗車証 を交付	令和2年度 申請数124件 利用回数 1,440回 令和3年度 申請数54件 利用回数 4,924回 令和4年度 申請数86件 利用回数 4,904回 ※R4は11月末現在	事業開始以降、利用者は増加している。バスの乗り方教室の実施等と併せて、自家用自動車から公共交通への転換促進を図りたい。

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
<p>★施策郡3 4バス・タクシー利用促進イベントの実施</p>	<p>園児によるバス車内装飾（クリスマスラッピングバス）の運行</p>	<p>参加者 富岡保育園児29名 装飾車両 1台 運行期間 12月2日～27日 運行路線 市内3路線</p>	<p>園児が自ら装飾を行うことにより、公共交通に慣れ親しんでもらうとともに、後日家族で装飾バスへ乗車する機会に繋がった。</p> 
<p>施策郡3 5長良川鉄道利用促進イベントの実施</p>	<p>市内小学校の社会見学として、体験乗車と施設見学を実施</p>	<p>令和4年度 実施学校数 3校 受入児童数 212人</p> 	<p>市教育委員会を通して、受入募集を行い、応募のあった3校に対して、長良川鉄道の協力を得て実施した。地域鉄道として親しみを持ってもらうとともに、将来通学やおでかけで活用してもらうきっかけ作りとなった。</p>

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
施策郡 4 1 自家用有償運送事業の運営体制の構築	まちづくり団体等が運行する地域内バスの自家用有償旅客運送（空白地輸送）への移行（4団体）	自家用有償旅客運送移行地域 1. 板取地域（関市板取ふれあいのまちづくり委員会） 2. 洞戸地域（ほらど未来まちづくり委員会） 3. 武芸川地域（武芸川まちづくり委員会） 4. 津保川地域（NPO法人日本平成村）	実証実験として無償運行を継続してきた地域内バスを自家用有償旅客運送へ移行することで、運賃収入を確保し、持続可能な公共交通サービスの実現に努めた。 定期券や乗継割引制度を導入し、利用者の急激な負担増とならないように配慮した。
★施策郡 4 4 バスの乗り方教室の実施	現在自家用自動車を利用している高齢者を対象とした、バスの乗り方教室やスマホ教室において、公共交通利用促進PR活動を実施	令和3年度 バスの乗り方教室 1 地区 参加者数 15名 スマホ教室 4 地区 参加者数 81名 令和4年度 バスの乗り方教室 2 地区 参加者数 60名 スマホ教室 3 地区 参加者数 40名	危機管理課、高齢福祉課と連携し、高齢者向けの教室開催時に公共交通に関するPR活動を実施し、スマホを活用した時刻検索や、乗車体験を通じて、公共交通への転換促進を図った。



3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

自己評価

関市公共交通活性化協議会 令和5年1月12日（木）

評価指標	目標値	実績値	結果	考察
【指標①】 市内の高校に送迎で通学している高校生の割合（％）	8％以下	9.3％	未達成	送迎割合は増加したが、送迎者実数は減少した
【指標②】 人口1人あたりの公共交通の年間利用回数（回/人）	9.0回/人以上	10.1回/人	達成	年間利用回数は回復傾向にある
【指標③】 公共交通の維持に必要な市民1人あたりの年間負担額（円/年）	5,253円/年以下	5,598円/年	未達成	年間負担額は増加し、目標達成できず
【参考】 市民の満足度向上（％）	満足 11.2％以上 不満足 50.8％以下	満足 13.9％ 不満足 30.8％	達成	目標設定時点から改善傾向にある

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

路線別評価

※全体評価は、①利用者数と④収支率の基準値に対する平均達成率（デマンド系は①と②の対前年比較）により判定

路線	①利用者数 (人/日)				②1便あたり利用者数 (人/便)				③利用者1人あたりの補助額 (円/人)				④収支率(参考) (%)			全体 評価	
	基準値	R03	R04	評価	基準値	R03	R04	評価	基準値	R03	R04	評価	基準値	R03	R04		
定時 定路線	関板取線★	138.0	119.3	116.3	未達成 ↓	10.0	9.9	9.7	未達成 ↓	1,000	1,071	1,150	未達成 ↓	15.0	10.4	9.9	C
	関上之保線	122.0	73.9	75.6	未達成 ↑	9.0	4.8	4.9	未達成 ↑		2,177	2,195	未達成 ↓		5.6	5.9	C
	買い物循環線	62.0	120.5	145.2	達成 ↑	5.0	6.0	7.3	達成 ↑		837	691	達成 ↑		9.7	11.0	A
	小金田線★	50.0	31.2	33.6	未達成 ↑	8.0	6.3	6.7	未達成 ↑		1,741	1,506	未達成 ↑		4.5	4.9	C
	千疋線★	43.0	10.5	10.7	未達成 ↑	7.0	2.1	2.1	未達成 →		2,971	3,118	未達成 ↓		2.8	3.1	C
デマンド バス	富野線	設定 しない	2.8	3.2	- ↑	2.0	1.1	1.2	未達成 ↑	設定 しない	6,364	4,966	- ↑	設定 しない	2.7	3.4	A
	田原線		5.1	5.8	- ↑	3.0	2.2	2.3	未達成 ↑		2,507	2,016	- ↑		2.8	3.5	A
	迫間線		9.5	11.7	- ↑	2.0	2.1	2.2	達成 ↑		2,751	1,897	- ↑		2.8	4.0	A
	向山線		9.0	10.3	- ↑	3.0	2.0	2.4	未達成 ↑		2,642	2,066	- ↑		2.8	3.5	A
デマンド タクシー	下有知地区	5.5	6.0	- ↑	1.5	1.2	1.2	未達成 →	2,099	1,895	- ↑	15.0	11.0	12.3	A		
	瀬尻・広見地区	3.4	4.6	- ↑	1.5	1.1	1.1	未達成 →	2,652	2,461	- ↑		8.5	8.7	A		

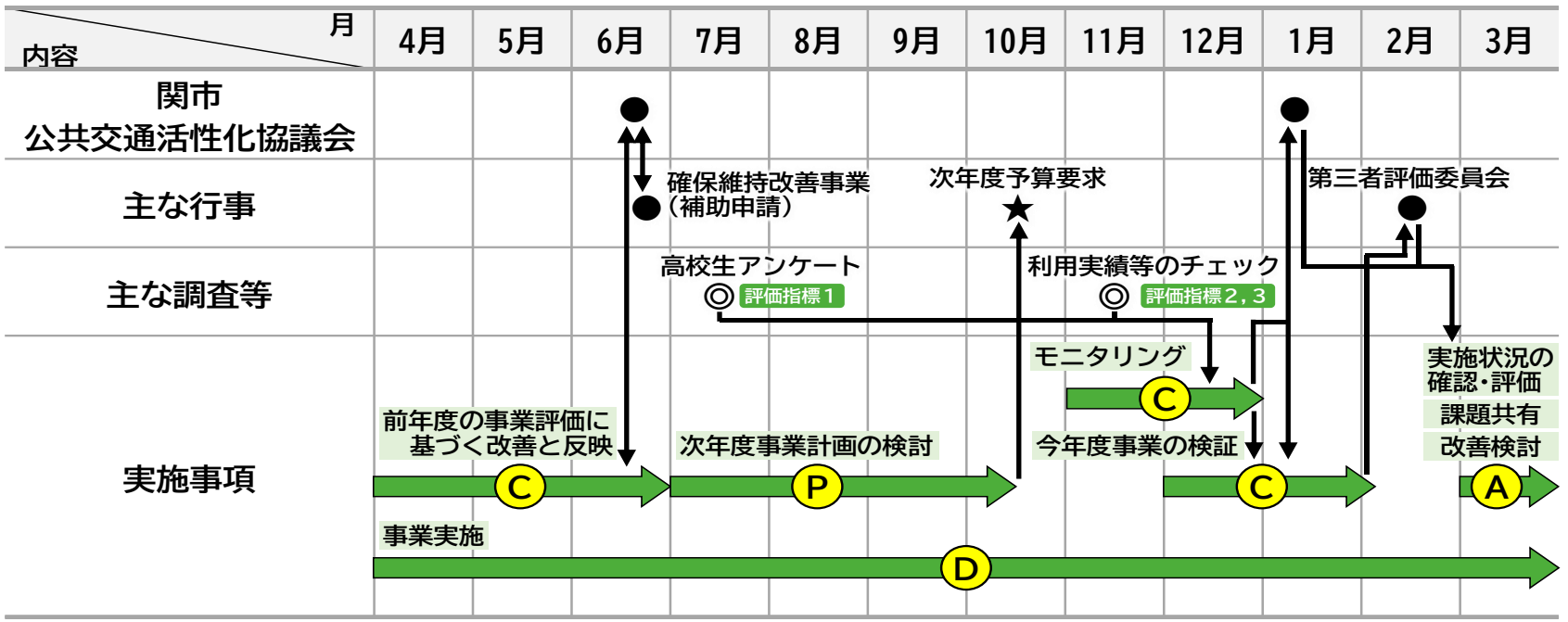
★国庫補助対象路線

路線名	評価	考察
関板取線★	C	利用者数は、前年比2.5%減。福祉施設がコロナ対策で利用を控えた影響が大きい。
関上之保線	C	利用者数は、前年比2.3%増。武儀生涯学習センターでのおでかけ利用者が増加したが、利用者数は少ない。
買い物循環線	A	利用者数は、前年比20%増。路線再編で順調に利用者数が増加している。
小金田線★	C	利用者数は、前年比7.4%増。ターミナル、マーゴ利用者等おでかけ利用者が増加したが、利用者数は少ない。
千疋線★	C	利用者数は、前年比1.8%増。ベイシアでの買い物利用客が増加したが、利用者数は少ない。
デマンドバス	A	利用者数は、前年比21%増。全路線で利用者数が増加した。
デマンドタクシー	A	利用者数は、前年比21%増。瀬尻・広見地区で自主返納利用者の利用が増加傾向にある。

作成目標の現在の到達点	今後の取組方針
<p>【指標①】 市内の高校に送迎で通学している高校生の割合（％）</p>	<p>アンケート調査を参考に、下校時のダイヤ改正を実施した。本年度のアンケートで、12名中、9名がダイヤ改正により下校時間に合うようになったという結果が出た。今後も高校生アンケートからニーズを把握し、改善に努めたい。</p>
<p>【指標②】 人口1人あたりの公共交通の年間利用回数はコロナ禍により低下したが、徐々に復調傾向にある。</p>	<p>対前年と比較した際に、全体では増加しており、特に地域間幹線の利用者が増加した。（具体的には岐阜関線が前年比34.8%、岐阜美濃線が25.0%増※ICカード利用者集計）コロナの影響が前年より少なくなり、市外への外出や通勤・通学での利用が増えたものと考察する。 更なる利用促進のため、高齢者を対象にしたバスの乗り方教室の実施や、長良川鉄道を利用した吟行俳句大会の実施を予定している。</p>
<p>【指標③】 公共交通の維持に必要な市民1人あたりの年間負担額は増加が続いている。</p>	<p>長良川鉄道の老朽化対策費が車両更新等により、前年より増額しており、負担額が増加した。人口減少に加え、物価高騰の影響で運行経費も増加し、負担額は増加していくが、目標値に収まるよう、運行方式の見直し等工夫していく。</p>
<p>【参考】 市民の満足度向上は満足、不満ともに改善傾向にある</p>	<p>満足との肯定的な回答が微増している。今後も高校生や高齢者等利用者意見を大切にしながら施策の実施に努めたい。</p>

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	調査事業については、各種調査や意見交換会の開催により利用実態やニーズを把握・分析し、新たな地域公共交通計画の検討を行っています。	調査結果・分析を基に、新たな地域公共交通計画を策定しました。	計画に沿った事業実施に努めます。
	学生の通学支援のための補助制度を導入し、利用促進に努めていることを確認しました。	中学校、高校へ案内チラシを直接配布し、引き続き事業を継続しています。	今後も学生向けアンケートを実施し、ニーズの把握に努めます。
	新しい地域公共交通計画に沿った事業が実施されることを期待します。	新しい地域公共交通計画に沿って、無償運行していた「地域内バス」を令和4年10月から自家用有償旅客運送へ移行し、持続可能な地域交通の確保に努めました。	自家用有償旅客運送移行後の利用状況や問題点等を把握し、運行団体への助言やサポートを行います。 (意見交換会の実施)
	コロナの影響により減少した高齢者や学生の利用を取り戻すため、バスの乗り方教室や学生への周知活動など利用促進策に積極的に取り組まれることを期待します。	高齢者を対象のスマホ教室や交通安全教室でバス利用に関する周知活動を実施しました。また、学生の利用促進を図るため、学生寮敷地内にデマンドバス乗降所を新設しました。	今後も事業継続するとともに、ニーズを把握しながら、高齢者や学生の利用促進に努めます。
前々回	乗降調査を実施、利用実態を把握した上で市街地路線が再編されたことを評価します	再編後の利用状況を分析し、必要に応じて、ダイヤや乗降所の変更を検討します。	学生意見を反映し、帰宅時のダイヤ時刻を調整しました。
	新たな公共交通の方法として、自動運転技術の実証実験が行われたことを評価します。	先進自治体や研究機関等への視察や情報収集を実施し、関市に適した導入手法等の検討を進めます。	導入に向けた運行ルートの検討や現地調査等を今後も進めていきます。
	これまでの網形成計画での取組の評価、課題を整理した上で、新地域公共交通計画の策定に向け協議されることを期待します。	計画の策定に向け、各種調査を実施し、公共交通の利用実態やニーズの把握・分析を行い、網形成計画での取組の評価や課題を整理した上で、新地域公共交通計画(案)を作成しました。	地域公共交通計画に基づき、施策を実施していきます。

■年間スケジュール



【協議会の実施状況】

第1回協議会	令和4年6月22日	主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通確保維持事業承認 ・自家用有償旅客運送の登録
書面表決	令和4年8月3日	主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ホリデーパスの設定
書面表決	令和4年8月31日	主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・昼得きっぷの延長
第2回協議会	令和5年1月12日	主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通確保維持改善事業評価